

会議録

令和 7 年 7 月 16 日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和 7 年度第 1 回定例会
開催日時	令和 7 年 5 月 21 日(水) 午後 6 時 30 分から午後 9 時 40 分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、小林資郷、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、ギログリー江美、鈴木明美、小林大介、荒井容子、坂内夏子 職員：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保分館長)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)
欠席者	澤井稔
議題	1 委員の委嘱 2 議題 (1) 西東京市公民館の概要について ア 主な公民館事業について イ 公民館運営審議会について (2) 正・副会長の選出 (3) 会議の運営方法等について ア 会議日程について イ 傍聴について ウ 会議録の作成方法について (4) 各担当の選出 ア 東京都公民館連絡協議会委員部会 イ 広報(公民館だより等) (5) 審議事項 ア 令和 6 年度第 9 回定例会会議録(案)について (資料 1) イ 令和 6 年度第 10 回定例会会議録(案)について (6) 主催事業について ア 令和 6 年度公民館主催事業報告 (資料 2) イ 令和 7 年度公民館主催事業計画 (資料 3) ウ 令和 6 年度第 2 回利用者懇談会報告 (資料 4) (7) 報告事項 ア 行政報告 イ 公民館だより編集室報告 ウ 令和 6 年度東京都公民館連絡協議会定期総会報告 3 事務連絡及び情報交換 (1) その他 (2) 公民館運営審議会委員の連絡方法について (3) 令和 7 年度第 2 回定例会の開催について
会議資料の名称	【配付資料】 資料 1 令和 6 年度第 9 回定例会会議録(案) 資料 2 令和 6 年度公民館主催事業報告書 資料 3 令和 7 年度公民館主催事業計画書 資料 4 令和 6 年度第 2 回利用者懇談会報告 資料 5 令和 7 年度西東京市公民館運営審議会定例会開催日程(案) 資料 6 第 13 期西東京市公民館運営審議会委員名簿

記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☐ あり(名) ☒ なし
会議内容	
1 委員の委嘱 ●教育部特命担当部長より西東京市公民館運営審議会委員（第13期）を委嘱 2 議題 (1) 西東京市公民館の概要について ア 主な公民館事業について ●公民館事業係長より、西東京市公民館の主な事業について説明。 ●公民館事業係長より、公民館運営審議会の役割等について説明。 (2) 正・副会長の選出について ●立候補により、会長に小須田厚子委員、副会長に松本静委員を選出。 (3) 会議の運営方法等について ア 会議日程について ●原則第3水曜日午後6時30分から開催の事務局提案の日程を了承。第8回定例会については、第4水曜日の開催することに決定した。 イ 傍聴について ●事務局より西東京市市民参加条例及び西東京市市民参加条例施行規則に基づき会議を公開することを説明。傍聴について了承。 ウ 会議録の作成方法について ●西東京市市民参加条例及び西東京市市民参加条例施行規則上の会議録の規定について、事務局より説明を受けた後、第12期と同じ方法、無記名による発言者の発言内容ごとの要点記録とすることに決定。会議録の審議・承認のスケジュールについては、第12期公運審と同様、次の回の定例会で審議し、次々回の定例会で承認することを原則とする。 (4) 各担当の選出 ア 東京都公民館連絡協議会委員部会 ●松本静委員に依頼 イ 広報(公民館だより等) ●下坂小百合委員、小池教之委員に依頼 (5) 審議事項 ア 令和6年度第9回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和6年度第9回定例会会議録(案)について承認 イ 令和6年度第10回定例会会議録(案)について ●令和6年度第10回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間以内をめどに修正意見を公民館に送ることとする。 (6) 主催事業について ア 令和6年度公民館主催事業報告(資料2) ○A委員 障害者学級あめんぼ青年教室(田無)について、事業報告書に「安全・安心で健全な場」という表現が使われている。記載した意図を教えてください。 ○分館長(田無) 重度知的障害の方も在籍しており、突然走り出し施設外へ出たこともあり、安全・安心に気を付けている。すべての学級生の情緒の安定を図って、全人格的に健やかに育てることで「健全」と記載した。 ○B委員 健全とは(身体・精神などが)すこやかで異常のないさまや考え方や行動が偏らず調和がとれているという意味がある。心配が逆に管理になりがちな感覚がある。	

○分館長(田無)

自分で何かを決めるなど自主的に活動しているが、「健全」の表記は削除する。

○C委員

ボランティアスタッフとして参加しているが、あめんぼ青年教室（田無）は、学級生のやりたい思いを取り上げて、全ての運営において対等に一人ひとりの個性と発達段階に応じて活動している。

○D委員

私もボランティアスタッフとして学級生同士が話し合いを行った中で、職員間で情報共有しながら、お互いの負担がない日々を過ごせるなどの手伝いをしている。

○E委員

昨年3月に障害者学級くるみ学級（柳沢）あめんぼ青年教室（田無）の事業計画書が提出され、1年間活動した内容の事業報告書を本年度の委員が審議するのはいかがか。できれば、半期ごとの中間報告があると議論もでき、活動状況の共有ができる。

○事業係長

毎月、障害者学級担当者会議が行われている。委員が審議できるよう活動報告や進捗状況などの中間報告を検討したい。

○F委員

事業報告書の定員、参加人数、延べ人数などの表記について、同じ人が参加しているのか、毎回参加者が違うのか参加の状況がわかりづらく、どの様な事業などか読み解くのが難しい。

○事業係長

連続講座については、基本的に同じ参加者が受講している。第1回定例会は、令和6年度に実施した事業報告書となっており、理解が難しいと思う。事業計画書と照らし合わせていただくと事業目的のために取り組んだことなど具体的にわかる。書式について見づらいなどあれば、随時、委員の意見を伺いたい。

○G委員

事業計画書と事業報告書を見比べることはできないか。

○A委員

事業計画書に基づいて、審議した後の事業プログラムや市民に対して募集する案内資料などを改めて審議会に配付していただけると、踏み込んだ審議ができる。次に、公民館主催事業に始めて参加する方が毎回多くなっている中で、芝久保交流会（芝久保）の初めての参加人数が0人や現代的課題を考える講座（保育付き）「しあわせココロ学～人や社会への思いやり～」（芝久保）の初めての参加人数が1人となっている。他の公民館と人数が少ないのがいかがか。

○分館長(芝久保)

芝久保交流会（芝久保）については、令和6年度に実施した高齢社会の課題を考える講座参加者を中心に、地域の方々に声掛けを行っている。公民館も初めての参加者が増えるよう、これまでを振り返りながら、きっかけづくりが出来るよう改善していきたい。また、現代的課題を考える講座（保育付き）については、芝久保公民館の交通の利便性などもあるが、SNSや広報などの仕方を工夫することで、一人でも多くの参加者が増えるように積極的にPRを行っていきたい。

○B委員

【共催事業】第19回人形劇フェスタ in 西東京（柳沢）について、悪天候にもかかわらず多くの参加者が来館した。各部屋の定員制限があるためロビーでの実況中継も行ったが、人数制限について伺いたい。

○事業係長

消防法の関係で、各部屋の収容人員について決まりがある。

○H委員

ムービールーム柳沢（柳沢）の参加者の評価について、参加者が、感じたことをアンケートで回答することで、参加者の声を評価する公民館の良さを感じた。また、第19回人形劇フェスタ in 西東京（柳沢）の参加者のアンケートに、入室開始時間が少し早まったことへの記載があるが、公民館の各部屋の時計がズレていることもあるため、定期的に時刻があっているか確認

が必要ではないか。

○I 委員

ライフデザイン講座「仕事なんかを生きがいにするな 3～世知辛い世の中を自分らしく生きる～」(柳沢)に参加したが、質疑応答が質問者だけでなく、参加者共通のものとなるよう、工夫がされていてオンライン受講者にも非常に緊張感を持って満足感が得られる講座であった。

○G 委員

田無公民館ロビーまつり(田無)に、延べ人数が 860 人の方が参加された。また、趣味講座「保谷駅前バンドをやろう」(保谷駅前)も延べ人数 238 人で、参加者層が 10 代から 70 代まで幅広い年齢層の参加者がおり、今後の 6 公民館ライブツアーを楽しみにしている。

○B 委員

年齢を設けず、赤ちゃんからお年寄りまでとしたコンサート「谷戸公民館 40th Anniversary Concert みんなで楽しむ春の音楽会」(谷戸)について、子どもから大人までとても楽しかったとの参加者の声がある一方で、じっくりと音楽を聴きたいとの感想がある。今後、子ども向けとじっくりと聴きたい向けと分けたコンサートも実施していただきたい。

○A 委員

おとなのための文章講座(保育付き)「きっと誰かに伝えたい、私だけのストーリーボード」(谷戸)について、事業名を「MyStory を楽しもう」から変更した事情について伺いたい。

○分館長(駅前)

委員からの指摘もあり、技術やスキルに偏った自伝を書く表現活動ではなく、自分の思いを相手に分かりやすく伝えるエッセイとコラムを創作する講座となった。

○事業係長

担当者が他者の感じ方や思いを知り自己理解を深めるなどの目的を掲げていたので、スキルを身につけるためだけでない講座の意図を組み事業名を変更した。

○分館長(谷戸)

「農業を知る講座～収穫の喜びと仲間づくり～」(谷戸)について、実施日が 7 月 26 日～と記載しているが、7 月 23 日～に訂正をお願いしたい。

イ 令和 7 年度公民館主催事業計画について(資料 3)

○A 委員

夏休み青少年ウイーク「夏休み子ども学習室～子どもと若者で楽しい学習室をつくる～」(谷戸)について、昨年度も好評だったお昼の時間帯に実施するスタディランチを更に充実していただきたい。

○分館長(谷戸)

承知した。

○D 委員

昨年の夏休み青少年ウイーク(谷戸)では、日程的に厳しかったのか参加人数が少なかったが、スタディランチでは、学習ボランティアスタッフが期間中、勉強以外の自分の体験談などを聞かせてくれて、子どもたちが興味を持って聞き入っていた。

○A 委員

夏の中学生ボランティア(SDGs サポーター編)(田無)について、7 月 4 日の学習内容に子どもと保護者対象講座のボランティアスタッフとなっているが、どうして保護者も対象になっているのか伺いたい。

○分館長(田無)

学習内容に石神井川の清掃活動や夏企画子どもと保護者体験講座「親子で自分だけのカレンダーを作ってみよう」(田無)、SDGs ロビーフェスタ田無(田無)の設営や受付など様々な事業のアシスタントスタッフとして地元の中学生に活躍の場を提供する内容になっている。

○A 委員

色々な事業にボランティアスタッフとして募集する形なら石神井川清掃活動の事業計画書も

提出するのか。

○分館長（田無）

夏の中学生ボランティア（田無）のメインは、市民団体と一緒に石神井川の清掃活動を行うが、日程があれば、その他の様々な事業にボランティアスタッフとして中学生が参加できる内容になっている。

○A委員

他の事業にボランティア募集の際、付随してボランティアスタッフを斡旋し活躍の場を提供できるなど分かりやすい事業計画書の書き方にしてほしい。

○分館長（田無）

承知した。

○A委員

子どもと保護者対象講座「プラごみで五感アート〜リサイクルを学んで地球を守ろう〜」（芝久保）について、プラスチックごみを使いどの様に展開していくのか伺いたい。

○分館長（芝久保）

微小なマイクロプラスチックが生物や人体に与える影響などを学んだ後、参加者が持参したプラスチックごみを使い、商品のロゴや色、柄を活かしながら貼り絵で魚を作成していただく学習内容になっている。

ウ 令和6年度第2回利用者懇談会報告(資料4)

- 各公民館の利用者懇談会については、資料4の令和6年度第2回利用者懇談会報告参照

(7) 報告事項

ア 行政報告

○公民館長

3月の議会において、4名の議員から公民館に関連する質問があった。主な内容は、市長の市政運営に臨むに当たって掲げた6つの重点的な取組の1つ「集える場とつながりのあるまち」について、公民館事業として、学生ボランティアによる講座やイベントを開催するなど、引き続き、公民館が多世代のサードプレイスとなるよう努めていくと答弁した。また、令和7年7月7日から地域学習を含む企画調整機能を強化するため、課内の所掌事務を整理し再編するという組織改正に伴い「教育部社会教育課」を「教育部地域学習推進課」に改める。次に市民の皆様が自由に涼むことができるクールシェアスポットとして、各公民館が開放されておりますが、この度、冷水器が3館（柳沢・芝久保・ひばりが丘）に設置された。

イ 公民館だより編集室報告

- 事業係長より、5月8日開催の公民館だより編集室会議について報告。

ウ 令和6年度東京都公民館連絡協議会定期総会報告

- 事業係長より、2月8日開催の定期総会について説明。

3 事務連絡及び情報交換

(1) その他

令和7年度西東京市公民館運営審議会定例会開催日程（案）について了承

(2) 公民館運営審議会委員の連絡方法について

委員のメールアドレス共有について了承

(3) 令和7年度第2回定例会の開催について

日時：令和7年6月18日(水) 午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室